

平成27年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	韮政クラブ
出 席 者	一木長博、清水一、野口紘明、西野賢一、宮川文憲、高添秀明、浅川裕康
事 業 名	スポーツ合宿のメッカづくり
事 業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究研修 <input type="checkbox"/> ②調査

1 韮崎市での課題と研修・調査の目的

韮崎市は、平成21年度からスタートした「韮崎市第6次長期総合計画」において、「サッカー」を重要な文化資源として位置づけ、「サッカーのまち」をキャッチフレーズに、次世代を担う青少年の健全育成、幅広い年代層が健康で暮らせる社会の構築や、サッカーを通じた国内外の交流など市民と行政が協働し、活気に満ちた魅力あふれるまちづくりの実現を目指していくこととしている。5年後の東京オリンピックを控え、サッカー代表国の中尾市への合宿誘致が可能かどうか、七尾市のスポーツインフラを調査研究する。

2 実施概要

実 施 日 時	視察先	石川県七尾市
平成27年 7月14日(火) 9:00~11:30	担当部局	産業部 観光交流課
1. 七尾市の概要		七尾市は、人口約5万6千人、面積は約318km ² であり、能登半島の中程に位置し、北に穴水町、東に日本海は七尾湾、南に中能登町、西に志賀町と、3町に隣接している。 平成16年10月に、七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町の1市3町が合併し新生七尾市として新しい1歩を踏み出した。天然の良港である七尾港を海の玄関口とし古代より能登の政治・経済・文化の中心地として栄えてきた。諸のいで湯として全国的に有名な和倉温泉や、様々なリゾート施設を有する能登島など観光資源に恵まれた市である。
2. 七尾市の課題と取組み		七尾市も人口減に頭を悩ませている。「合宿誘致事業」により、交流人口の拡大を図り、人口減対策の一手段としている。スポーツ合宿のメッカとなるようインフラ整備に注力し、サッカー、テニス、陸上競技、バレー、バスケットボールなど各種競技であっても対応できるよう合宿施設の拡充に取り組んでいる。これら施設は合宿向けのスポーツ施設として利用されるだけでなく、地域交流の場として地域住民に開放され、また防災倉庫や避難所として利用するなど、防災減災の機能をも有している。また、注力しているのは施設整備だけではない。大学、学生会、旅行会社、各種競技の協会・連盟など、誘致活動の幅を広げており、最近では、北陸新幹線の開通に伴い、沿線の修学旅行もその誘致対象とするなど、あらゆる機関、団体に合宿誘致の働きかけを行っている。

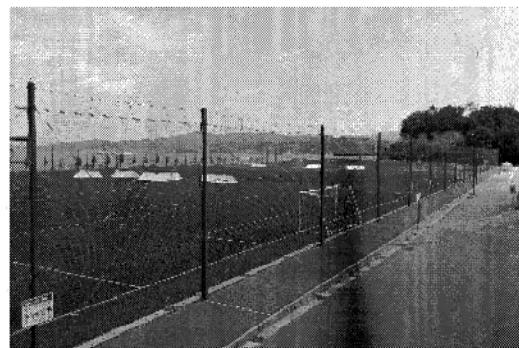
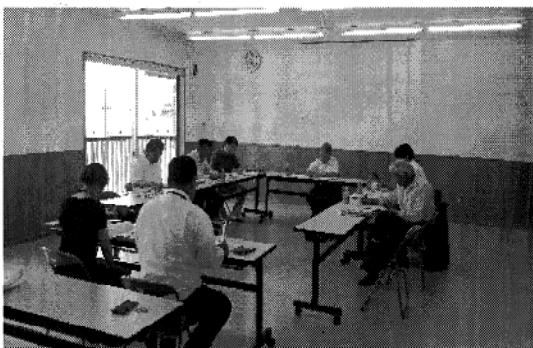
1. 運営状況

「合宿誘致事業」に関する説明は、市内に複数ある合宿施設のうち、「和倉温泉多目的グラウンド」に併設されたクラブハウス2階で行われた。

合宿誘致事業については、その取組の経緯から、事業目的、事業概要、事業収入、利用状況、宿泊状況、関連事業など、七尾市担当者から、丁寧かつ詳細な説明を受けることができた。

研修出席者からは、「施設整備の財源内訳はどのようにになっているのか」、「施設の将来的な維持管理費への対応はどのようにになっているのか」、「当該事業において明確になっている課題はあるのか」、など数多くの質問が投げかけられ、七尾市担当者からは質問に対する丁寧な回答を得ることができた。

説明終了後は、クラブハウス内の見学を行ったのち、グラウンドへ出て、その広さや芝生の管理状況、気候状況など実際に体験体感し、改めて七尾市担当者から説明を受けながら現地視察を行った。



2 考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか）

5年後の東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、合宿誘致に有利な条件としては、①都心からのアクセス利便性、②施設の充実性、の2点が求められる。韮崎市において問題となるのは②の点である。施設環境としては、韮崎市の中央公園などは、森林に囲まれ、スポーツを行うには、非常に良い環境の中に施設が存在しており、申し分ないと思われる。しかしながら、施設としては、七尾市と比較すると規模が小さいと言わざるを得ない。しかして、中央公園をより規模の大きいものへと改修改築するためには莫大な費用がかかるだろう。

今回の研修で学んだことは、施設の新設や維持管理に関する手法についても参考となるものであったが、何より交流人口をいかに増大させるかのマーケティングこそ重要ではないかという点である。すなわち、施設整備への視点も重要であるが、あらゆる団体に「サッカーのまち、にらさき」を印象付け、大会誘致などに注力し交流人口の増大に努めるといったソフト面に焦点を当てることも重要なのである。東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致を目指しつつ、今回の研修結果を、今後の韮崎市のスポーツ振興の一助としたい。